

## <シングルファーザーになって分かったこと感じたこと>

講師にシミケンの愛称で親しまれている元かんさい情報ネット ten. アナウンサーの清水健さんをお迎えし、シングルファーザーとして仕事と子育てに奮闘されているご自身の経験や現在の思いについてお話いただきました。

講演では、

- ・妻には詳しい病状を伝えたことはなかった。それが正しかったのか、今でも答えが分からないでいる。
- ・「あの時こうすれば良かったのでは」という後悔の気持ちは無くならない。たった1つの正解というものはない。でも、いつまでも後悔があっても良いんだと思っている。
- ・シングルファーザーになったが、母や姉をはじめ周りの支えがあって、なんとか仕事と子育てを両立している。もし周りにそのような方がいたら、一人でないことを伝えてあげてほしい。僕も周りに壁を作ってしまったこともあったが、一人ではないことに気付いた。
- ・妻が亡くなると、当然ながら、会社の扶養手当がなくなる。でも、ベビーシッターや保育園の費用がかかり、支出が増える現実がある。
- ・子育ては毎日反省ばかり、息子も今月で8歳になる。野球が大好きで、一緒に大好きなホークスの試合を見に行ったり、バッティング練習に付き合ったりしている。息子の好き！を応援し続ける父親でありたいと思っている。

当日参加された87名の皆さんは、講師のお話真剣に耳を傾けておられ、時折、すすり泣きやハンカチで目頭を押さえている方もいました。

講演の最後に講師から「いろんながんばろうがある。一步も進めない、立ち止まる、振り向く、後ろに戻る。がんばらなくても毎日はやってくる。そんな毎日をみんなとがんばっていきましょう。」と参加者の方へのエールで講演は終了しました。

受講後のアンケートでは「命の大切さ、周りを頼ることの大切さを感じた。」

「人生いつまでも後悔があっても良いと話されていたので安心した。」「勝手に作っていた壁を無くし、前向きな姿勢でありたいと思った。」などの声が寄せられました。